

いまこそ“こどもまんなか”子育て支援

熊本市長 大西一史



民生委員・児童委員、主任児童委員の皆様方には、日頃より、地域福祉の増進に格別のご支援とご協力を賜っておりま

すことに、深く感謝申し上げます。
さて、近年、生活様式の多様化や地域におけるコミュニティの希薄化など、子育て家庭を取り巻く環境は大きく変化しており、子育てに対する負担感や不安感が増大する中で、子育てやこどもの健やかな成長を社会全体で支えていく必要があります。

そのような中、本市としましては、これからの社会を担う大切な宝であるこどもを核としたまちづくりを進めるため、本年4月に「こども局」を新設し、活気に満ちた上質な生活都市の実現に向け、各種施策に取り組んでいるところです。このような取組を着実に進めていくためには、地域の実情に明るく、住民の方々からの信頼が厚い民生委員・児童委員、主任児童委員の皆様方との連携が不可欠でございますので、今後とも、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

熊本市民生委員児童委員協議会 会長
小山 登代子



一斉改選から、まもなく一年となります。この間、新型コロナウイルス感染症の脅威から活動制限をせざるを得なくなりましたが、5月からは創意工夫をし、人々の繋がりを作るために、地域活動を再開されていると思います。

本年、市民児協の活動は、児童委員・主任児童委員として、地域の「子育て応援団」を目指すこととしました。これまでにない厳しい環境の中で、こどもの最善の利益を第一に考え、健やかな成長を地域全体で後押ししたいと考えています。こどもが抱える課題には、家庭環境を反映したものも多く、社会全体での支援が必要だと思われます。

熊本市、市社協、関係機関とのさらなる連携を図り、こどもの笑顔と幸せのために、児童委員・主任児童委員活動を充実させていきたいと考えています。皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。



第17号

令和5年11月発行
発行者 熊本市民生委員
児童委員協議会
会長 小山 登代子

〒860-0004
熊本市中央区新町2丁目4-27
熊本市社会福祉協議会内
☎096-288-2748



支えあう
住みよい社会
地域から

民生委員・児童委員の日 「一斉あいさつ運動」

白川校区民児協 会長

越智 智鶴子

5月12日（金）民生委員・児童委員の日の朝、熊本市民児協では、民生委員・児童委員が一斉に各校区の通学路や校門に立ち、あいさつ運動を行いました。

白川校区では、白川小学校が母校である大西市長をはじめ、岡村中央区長、市民児協小山会長、市社協萱野常務理事などが、東門に立たれました。

「あ、市長さんだ!」
と気づいて、元気に話しかけてくる上級生もいれば、恥ずかしそうにうつむいて通る黄色い帽子の一年生もいました。立ち止まって

「おはようございます。」

と挨拶する児童が多く、大西市長はとても感心されていました。小山会長は、児童を送ってきた保護者や門の前を通る地域の方に「民生委員・児童委員」のリーフレットを渡しながら、PR活動をされていました。

児童にとっても地域の方にとっても特別な朝になったことと思います。



各区会長あいさつ



北区会長 津地 尚文
楽しく、仲良く、やりがいを持って取り組める民生委員・児童委員を目指して頑張ります。



南区会長 野口志津子
南区会長会は、委員の皆様が安心して活動ができるよう、心配や困り事に対し支援してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



西区会長 村山 寛
西区委員の皆さんが、楽しくやりがいを持って日々の活動ができるよう、また委員をしてよかったと思われるよう頑張ります。



東区会長 朽木 孝一
普段の生活に戻りつつある今日に感謝です。私たち一人ひとは、人として支え合う力を持っています。「お互いさま」の心を培い、歩みを続けていきましよう。まずは元気であること。健康第一です。



中央区会長 岡本 恭典
日頃の言行は明るく、楽しく、和やかに任期を通して共に人格と識見の向上に努めましよう。

役員紹介

熊本市民生委員児童委員協議会役員

会長	小山登代子	(北区・城北校区)
副会長	野口志津子	(南区・田迎南校区)
(会長職務代理)		
副会長	岡本 恭典	(中央区・城東校区)
副会長	朽木 孝一	(東区・若葉校区)
(広報委員長)		
副会長	村山 寛	(西区・白坪校区)
(会計)		
副会長	津地 尚文	(北区・川上校区)
(研修委員長)		
理事	竹田津キクエ	(中央区・本荘校区)
理事	濱部 純子	(東区・泉ヶ丘校区)
理事	中島 花江	(西区・春日校区)
理事	関根 義臣	(南区・御幸校区)
理事	山口 弘幸	(北区・高平台校区)
理事	細西 恭代	(中央区・城東校区)
(主任児童委員部会長)		
監事	米満美恵子	(中央区・帶山校区)
監事	小夏 敏明	(南区・豊田校区)

熊本市民生委員児童委員協議会会長及び副会長

中央区	会長 岡本 恭典	(城東校区)
	副会長 竹田津キクエ	(本荘校区)
東区	会長 朽木 孝一	(若葉校区)
	副会長 濱部 純子	(泉ヶ丘校区)
西区	会長 村山 寛	(白坪校区)
	副会長 中島 花江	(春日校区)
南区	会長 野口志津子	(田迎南校区)
	副会長 関根 義臣	(御幸校区)
北区	会長 津地 尚文	(川上校区)
	副会長 山口 弘幸	(高平台校区)

令和4年度

熊本市民児協被表彰者一覧

社会福祉功労者に対する厚生労働大臣表彰

・中央区(帶山) 久保田 節子

・西区(小島・中島・松尾) 小島 とよ子

・北区(高平台) 内原 富美子

全国社会福祉協議会会長表彰

・民生委員・児童委員功労表彰

・西区(小島・中島・松尾) 小島 とよ子

・北区(高平台) 内原 富美子

全国民生委員児童委員連合会会長表彰

・優良民生委員児童委員協議会表彰

・中央区 向山校区民生委員児童委員協議会

・永年勤続単位民生委員児童委員協議会会長表彰

・中央区 本荘校区民生委員児童委員協議会 会長 竹田津キクエ

・西区 三和地区民生委員児童委員協議会 会長 秦 英房

◎民生委員・児童委員功労者表彰 (20名)

◎永年勤続民生委員・児童委員表彰 (13名)

◎民生委員・児童委員に対する厚生労働大臣特別表彰 (50名)

◎九州社会福祉協議会連合会会長表彰 (75名)

◎熊本市社会福祉功労者表彰 (熊本市知事表彰) (69名)

◎熊本市有功者表彰 (敬称略) (18名)

母子支援のあり方を学習 中央区会長視察研修

会長 岡本 恭典

中央区

中央区民児協は6月6日（火）会長会終了後、午後2時より福田病院ならびに寿心亭（じゅしんてい）で研修会を開催しました。

前半は病院内の見学研修、後半は隣接の寿心亭で母子サポートルームの日高室長による「院内における母子支援」をテーマに学習しました。

学習では母子の健やかな出産とは別に若年層の妊娠に関わる統計や出産前後の難しい生活環境の中、母子ともにサポートされている実情を垣間見ることが出来ました。

今回の学習を通して4月1日に発足した「こども家庭庁」と「市こども局」、私たち「児童委員・主任児童委員」と地域の母子支援組織の連携の必要性を学びました。



復興進む豪雨被災地「人吉・球磨」を訪ねて

～熊本市民児協会会長視察研修～

託麻北校区民児協会会長・広報委員 高松 幸代

令和2年7月豪雨から3年目を迎える被災地「人吉・球磨」を訪ねました。

7月3日から4日にかけて降り続いた雨は10時間以上続き、球磨川を氾濫させ、橋梁の流失、堤防の決壊、土砂流入、県道の電柱の高さ5.7Mまで濁流が押し寄せました。

増水した支流が本流・球磨川に合流し、川幅が狭くなっている渡地区で逆流氾濫したことで川沿いの集落は避難が困難になり、多くの被害と尊い命が失われました。「球磨川を一番理解していた住民達の予想を遥かに上回り被災してしまった」と語られるほどの豪雨災害です。

農家レストラン「ひまわり亭」の本田節さんは「店のシンボルであったキジ馬が目の前の赤い橋の上をを超えて流されていきました。」と語られ、被災4日目から5か月間、2万食の炊き出しをされたそうです。

現在も675名（令和5年7月時点）の方が仮設住宅での生活を余儀なくされていますが、防災、減災対策を踏まえた老健施設、公営住宅、遊水池、堤防の建設も進んでいます。語り部の方からは身近な行政に助けられたとの言葉もあり、地域全体で日頃の支え合い、助け合い、自助、共助の大切さを学びました。

1日も早い復興を願ってやみません。



サロンで高齢者見守り

若葉校区民児協 副会長 角田由美子

東 区

「おはようございます」「お変わりなかったですか」「今月もお会いできましたね」

毎月第4火曜日の午前10時から若葉地域コミュニティセンターで実施されている「若葉ふれあいいきいきサロン」の1コマです。コロナ禍で開催場所のコミセンが閉館にならない限り続けてきました。開催お知らせの閲覧板は毎月初めに校区社協が作成し、当日の実施スタッフは民生委員・児童委員です。マスクの着用確認や検温、15項目の健康チェック、体組成測定にはじまり、病院スタッフによる血圧測定と健康相談を行います。各コーナーへの案内や記録は

民生委員・児童委員が行い、定例会で役割を確認します。

健康体操で体をほぐした後、月ごとに予定されているコーラスやギター演奏などを楽しみます。また、詐欺被害や火災予防、介護や医療、食事などについての講話もあります。

毎回30名から40名の参加があり、男性の参加も増えてきました。一堂に会しての茶話会はまだまだできませんが、用意したお茶菓子を手土産に「ありがとう」「楽しかった」「また会いましょう」との元気な笑顔と言葉に心が和みます。



夜の定例会

託麻南校区民児協 会長 富永 博文

東 区

民生委員・児童委員の全国定数は24万人ですが、昨年の一斉改選では93%の充足率です。熊本市においては1,300人が一斉改選により委嘱されましたが、充足率は88%と全国平均より低い数字です。

このことは民生委員・児童委員に限ったことではありません。自治会役員も同様のことが言われています。託麻南校区3町内では役員募集に関する実態調査を実施した結果、65歳〜70歳は70%の人が何らかの仕事をしているとの結果が出ました。要員確保は非常に困難なことです。そこで託麻南校区民児協では今年から定例会を、毎月第2木曜日の午後7時から始めました。フルタイムで仕事をしている人への配慮からです。これからの自治会や民生委員・児童委員活動は、仕事をしながらできる活動でなければ「なり手不足」は解消出来ないと思われれます。地域のさまざまな福祉活動を見直し、負担軽減に取り組まなければなりません。なお一層の民生委員・児童委員の役割の見直しが望まれるところです。



白坪校区8町内の ボランティア活動「七施の会」

白坪校区民児協 村山 寛・笹本 恵

西 区

私達のボランティア活動は「七施（ななせ）の会」と言います。30名程の75歳以上の一人暮らしの方のサポートを行っています。町内のお寺の坊守さんがこの会の会長で、私達2名の民生委員・児童委員が副会長、自治会長を顧問に迎えて総勢9名で活動しています。

会の名になっている七施とは、

★目施：優しい眼差し

★和顔悦色施：なごやかな顔

★言辞施：やさしい言葉

★心施：あたたかい心

★身施：心のこもった行動

★房舎施：おとずれた人を心地よく迎える心

★床座施：おもてなしの心

私達はこの「七施」を常に心がけてボランティア活動に勤しんでおります。

主な活動は①年に3回のお弁当配り、②年に4回の機関紙発行、③施設への見学会、④手芸教室、⑤来年度の干支作り、⑥町内行事への参加です。高齢化が進む中、皆さんが元気で明るく年を重ねてくださることを切に願っております。



今後の活躍に期待！

西区民児協出前講座

城西校区民児協 会長 佐藤 素子

西 区

西区民児協では、一斉改選により仲間になった多数の新任委員の研修と、ここ3年間のコロナ禍の影響で研修や活動の機会が減少した再任委員のレベルアップを図るため、各民児協が同一機関に講師の派遣を依頼し、出前講座として令和5年3月より8月まで全6回行いました。

各单位民児協とも定例会の前後30分から1時間程度を研修に充てていました。講師は民生委員・児童委員活動において連携が必要な、福祉課、保護課、保健こども課、市社協、ささえりあ、熊本市障がい者支援センター「さいせい」にお願いしました。定例会での情報提供でしか顔を合わせる事が無かった各機関の業務内容を知ることができました。

受講した委員からは、「民生委員・児童委員の役割はつなぎ役と聞いていたが、どの機関につなげばいいか理解できた。」「こどもに目を向けた活動にもっと取り組まねばと実感した。」「各機関の話は、今後の活動に役立つものばかりで良かった。」「民生委員・児童委員との連携事例を

もっと知りたい」

「民生委員・児童委員は、地域の方々と信頼関係を深め、小さな事でも相談を受けられ、様々な地域の情報が得られるような存在になることが大切だとあらためて感じた。」等々の感想が聞かれました。

西区の民生委員・児童委員は今回の研修を受講し、新任委員は基礎知識を学び、再任委員はよりレベルアップした知識を得たことにより、今後の活動の幅が一層広がる事が期待できます。



南区民児協 会長・副会長研修会

会長 野口志津子

南区

令和5年6月29日（木）富合公民館において、会長13名、副会長19名計32名の参加で研修会を開催しました。

地域包括支援センター「とよこえりあ熊本南」村田美妃センター長より業務内容や高齢者支援について事例を通して具体的にお話していただきました。複雑な事情のある高齢者の支援には民生委員・児童委員（以下民生委員）からの情報が活用されており、あらためて地域の見守り活動の充実を痛感しました。次に、田中知英コーディネーターより介護保険制度について説明があり、高齢者が要介護状態になっても、自立した日常生活を送ることができるよう、医療、介護サービスが提供されるが、できないことだけを補うサービスではないこと、また、要介護状態前のフレイル（虚弱）については、その予防のため民生委員が活動している地域でのサロンや百歳体操活動が効果的であることも学びました。

「単位民児協定例会についての情報交換」では、各単位民児協定例会のレジュメを事前準備し参加者に配布し討議をしました。レジュメの書式や会議内容は各民児協に特色があり、参考になりました。なかでも、新規やベテラン民生委員でも相談や活動に悩む事例の検討をしている単位民児協もあり、安心して活動ができるための方法として取り入れていきたいとの感想もありました。

研修会終了後、南区福祉課、市社協南区事務所職員の方にも参加いただき懇親会を開催しました。本音の情報交換ができ大いに盛り上がり、今後の活動に活かせる研修会となりました。



子どもの視点に立った対応を！ 南区（幸田）民児協ブロック研修会

田迎・田迎西校区民児協 会長 西田 浩治

南区

令和5年7月20日（木）午後1時から、熊本市幸田公民館大ホールにて南区（幸田）民生委員・児童委員協議会ブロック研修会を開催しました。令和5年4月1日に「こども家庭庁」が発足したことに伴い、熊本市は「こども局」を設置、研修会ではこども政策課の那須光也課長、こどもの権利サポートセンター開設準備室の上野大吾室長よりお話を聞きました。

演題①—1「こども局について」

出生数の減少と少子化の加速への対応は喫緊かつ最重要課題であり、こどもをめぐる複雑・多岐にわたる課題に迅速・的確、丁寧な対応が必要とされます。また、こどもや子育て家庭の視点に立ったこども政策の立案と、全ての健やかな育ちを支える施設の全庁的・総合的なけん引役をこども局が担うとの説明がありました。

演題①—2「こども権利サポートセンター開設準備室について」

いじめや体罰を含め、こどもの権利を侵害するものからこどもを守るために開設に向けた準備室を現在4名の職員で運営されており、開設時には職員を増員して対応されるとのことでした。

演題②「不登校の現状と民生委員・児童委員に期待すること」

熊本市教育委員会の吉里麻紀課長、総合支援課学校サポート班の石田啓子指導主事によりお話があり、熊本市だけでなく全国的に不登校児童数が年々増加しているとのことでした。平成28年に「教育機会確保法」ができ、豊かな学校生活・教育を受けられる環境、不登校の状況に応じた支援、不登校でも学習できる環境の整備を掲げてフレンドリーオンライン、ユア・フレンド、SC、SSWといった支援を行っているとのことでした。

民生委員・児童委員としては、担当地域でいじめや体罰等の情報を収集した場合、相談窓口としてこども権利サポートセンターへ情報を提供することができ、心強いと思います。

また、不登校児童については、個人情報等があり、情報が得にくいために学校・総合支援課と情報を共有すると共にいろいろな支援があることを学びました。



異世代間交流の大切さ 大きく変わる地域の中の民児協活動

楠校区民児協 会長 小山 和美

北 区

熊本市が中心となつて開発した大規模団地「楠団地」は、開発から半世紀を超え、人口構成や街の様子は大きく変化しています。昭和50年代に1,600名を超えていた楠小学校の児童数は現在250名ほどで、高齢化率は35%を超えるなど少子高齢化が顕著です。一方、近隣の合志市や菊陽町方面は、大型企業進出などにより開発速度は一段と増してきています。

このような大きな変化の中、単位民児協の活動を進めていくうえで委員一同が大切にしていること、それは新興地「楠の街」を作り上げてきた先達の思いや努力をしつかり受け継ぎ、次の世代へつなげていくことです。そこで、今年の楠校区民児協は、「異世代間交流の大切さ」をキーワードに活動を進めていくことにしました。

①高齢者・子育て世代を対象にした親子工作が「熊本市夢もやい館」で計画されたときに、折紙風作りとストローひごぐにやぐにや風作りをしました。風作り、風揚げを通して委員と親子の会話が広がり和やかな時間を過ごすことができました。

②楠小学校の放課後児童育成クラブで、お話会と科学工作ものづくりを企画しました。お話会ボランティアの方のお話に、こども達は時間を忘れて聞き入っていました。工作は、竹の割りばしと輪ゴムで作った発射装置付き紙飛行機を制作、委員や指導員から紙飛行機作りを習うこども達は、未知への挑戦に真剣に取り組んでいました。

③楠小学校では夏休みになると「すくすく夏休み寺子屋教室」を実施しており、楠校区民児協に協力依頼が来ます。今年は委員の得意分野である習字や

パッチワークなどに取り組み、夏休みの課題に取り組むこども達の支援をしました。

④楠小学校は校地も広く、児童だけでは校舎の清掃や除草も大変であるため、学校と楠5町内老人会、民児協が連携し校地の一部に児童と高齢者が共に楽しむ農園を整備しました。老人会の農園部の方が児童と一緒に季節の野菜や花などを育てています。育てたサツマイモや野菜、花などの果実は理科・生活科の教材になっています。

このように様々な機会をとらえて、高齢者とこども達がふれあい、心を通わせる場を設けたいと考えています。「異世代間交流」の具現化は難しいところがありますが、次世代を担うこども達を活動の中心に置き、地域の健やかな成長に寄与できる方策を追い求めていきます。



夢もやい館親子工作の様子



楠小児童育成クラブ「お話会の様子」

老人会による農園整備(楠小学校)

北区新任委員 研修会を開催

会長 津地 尚文

北 区

令和5年3月28日(火)、午後1時30分から4時まで、植木文化センター1多目的ホールで北区民児協新任委員研修会が開催され、令和4年12月の一斉改選で新たに委嘱を受けた委員他百余名が参加されました。



最初に北区会長津地より、活動記録の意義や記入方法についての講話をし、その後グループに分かれて、事前アンケートに基づき「活動の中での疑問や課題」「民児協への要望や意見」などについて話し合いました。どのグループも活発な発言が続き、会場は委員の熱気に包まれていました。グループワーク終了後の質問や要望には小山市民児協会長から回答がありました。

新任委員の皆さんにとっては民生委員児童委員活動に戸惑うことも多いことでしょうが、この研修が組織や活動への理解を深め、意欲をもって楽しく活動に取り組まれることを願っています。

自身のスキルアップを目指して 4年ぶりの視察研修

主任児童委員部会

支援学校で、小学部1学年1学級、中学部1学年2学級、小中学部ともに1学級6人の体制になっています。大きな特色として、城東小学校・藤園中学校と隣接しており、その立地を生かした日常的な交流や共同学習が行われています。

開校して4年目ということもあり、校内は木の香りに包まれ、綺麗で温かみのある造りになっていて、調理室や木工作業室など、こどもたちが意欲的に学習や作業ができる環境が整っていました。また、こどもたちそれぞれが夢やチャレンジを実現するために、今何が必要なのかを考え、将来の自立と社会参加のための「生きる力」を持てるよう、一人一人のこどもたちに寄り添いながら、頑張っている先生方の姿が印象的でした。

久しぶりの視察研修でしたが、支援学校や支援学級について相談を受ける機会がある主任児童委員にとって、自身のスキルアップにつながる意義のある研修になったと思います。



主任児童委員部会 副会長 宮澤 矢良

(天明地区民児協)

令和5年8月3日(木)、熊本市主任児童委員部会の視察研修が4年ぶりに開催され、熊本市立おおば支援学校を訪問しました。初めに、教頭先生から学校の特色やこどもたちの日頃の学校生活の様子などのお話があり、その後校内を案内していただきました。

あおば支援学校は、知的障害特別

こどもまんなか 子育てサークル紹介

主任児童委員部会東区ブロック長

川崎由紀子

(山ノ内校区民児協)

東区山ノ内校区子育てサークル「かんがるーくらぶ」は、毎月第1水曜日に開催しています。毎回絵本の読み聞かせとわらわらを20分間した後、月々の活動をします。6月は、主任児童委員部会の細西部会長に講師をお願いして、フラダンス講習をしました。初めに、フラの手の動きは手話と同じで言葉を表現していることやステップ、腰の動きなど基礎を教わり、それからアップテンポの曲に7人のママたちが挑戦しました。最初はバラバラな動きで悪戦苦闘！しかし、最後は皆さんフラガールになって、ステージで踊りました。

梅雨空でしたが、会場だけは一足お先に常夏ハワイになりました。



編集後記

異常気象を招いている地球温暖化が叫ばれているものの、対策を示すことのできない世界の風潮があります。身近なところでは、超少子高齢化を迎え、いびつな人口構成が明らかになってきています。4月にはこども家庭庁も発足し、「こども中心」の対策に目が向けられ、今年は、こども応援団スタートの年になりました。民生委員児童委員活動の中心としてこれからの日本を背負っていく世代、未来を築いていくこども達をしっかりと見守り育てていきましょう。広報委員一同このような思いを込めて編集しました。寄稿いただいた皆様、事務局の皆様へ感謝します。

広報委員長 栢木 孝一

熊本市民生委員児童委員協議会 広報委員会委員

委員長	栢木 孝一 (東区・若葉校区)
副委員長	宮澤 矢良 (南区・天明地区／主児)
書記	高松 幸代 (東区・託麻北校区)
委員	豊田 典子 (中央区・出水南校区)
委員	浦郷 文子 (西区・池田校区)
委員	前田 哲明 (南区・力合・力合西校区)
委員	中村 雪江 (北区・武蔵校区)

「個人情報管理は慎重に!!」

民生委員法には守秘義務が規定されています。
保有する情報には十分気を付けましょう!!